

アルパック ニュースレター



「匠台テクノプラザ」(小野工業団地管理センター)が竣工しました。

アルパック ニュースレター もくじ

- 景観行政について考える..... 2
- 山城町 デレーケの偉業をしのいで..... 4
- 現場の“ある一日”..... 6
- 天神さんの池の小さな管理システム..... 7
- おもちゃのスーパーマーケットの挑戦..... 8
- 新人紹介..... 8
- LISTEN TO THEIR BLUES !10
- うまいもの通信⑩.....11
- “『地球環境都市』パネル展”のご案内.....12
- 新刊旧刊書評紹介.....13
- まちかど.....14

NO.53

景観行政について考える

—アルパックセミナーの報告—

山村 幸治

さる2月18日の夕方、アルパック大阪事務所の会議室において、「景観行政について考える」というテーマで、アルパック・セミナーを開催しました。講師は、神戸大学建築学科の安田丑作助教授にお願いし、貴重なご講演をいただきました。

安田先生は、市街地整備、生活環境整備等の都市計画分野をご専門とされるとともに、阪神間の自治体を中心に、景観に関する調査計画を指導されてこられました。現在、神戸市や尼崎市をはじめ、景観審議会の委員を数多く務められています。

今回のセミナーは、近年における景観への関心の高まりといった世相背景を踏まえ、景観誘導主体である行政にスポットをあてることを主目的にしました。当日は、景観に係わっておられる自治体の方やコンサルタントの方等、計20名の方々に参加していただくことができました。我々アルパック所員も15名が参加しました。

講演の内容は、先生が深く関わってこられた神戸市都市景観形成基本計画のを中心にして、景観に関心を持たれたきっかけ、これまでの調査研究の内容、景観行政が抱えている問題等についてでしたが、以下にその主な内容をご紹介します。

全国的な景観行政と景観形成基本計画

現在、全国の自治体で実施されている景観行政は、①条例や要綱による規制・誘導、②公共空間の整備事業、③啓発活動・イベントの大きく3つに分類される。また、一方で計画的展開と体系化についての取り組みもみられ、これがいわゆる景観形成基本計画（景観

マスタープラン）の策定である。この計画は、神戸市をはじめ、いくつかの自治体で策定されており、各自治体で計画内容は異なるが、その内容を大きく分けると、①都市景観整備の目標像の設定、②都市景観整備の対象と整備の基本方針、③景観整備の具体的方策から成り立っている。一例として、このマスタープランのモデルともいえる神戸市都市景観形成基本計画の場合は、まず、景観の類型化と景観資源調査を行い、さらに都市全体の方向づけを行う「ストラクチャープラン」と個々の地域や地区についての「ローカルプラン」の2段階の計画策定方式をとっている。（図1）

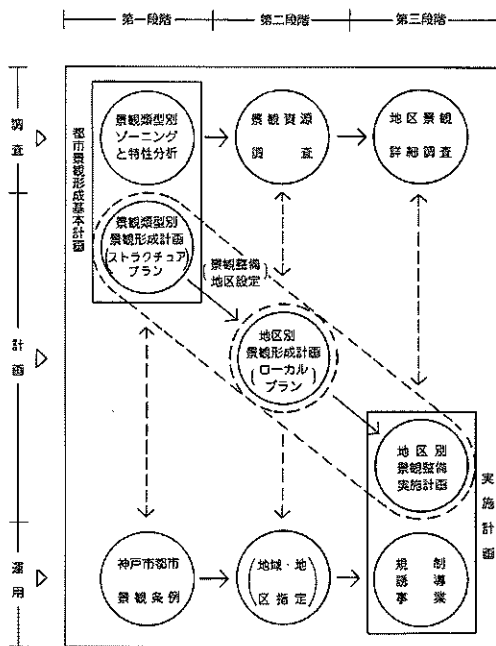
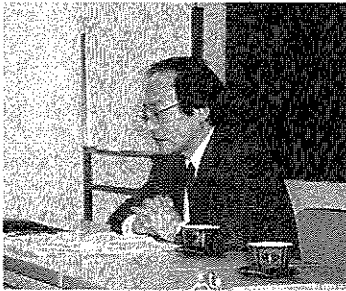
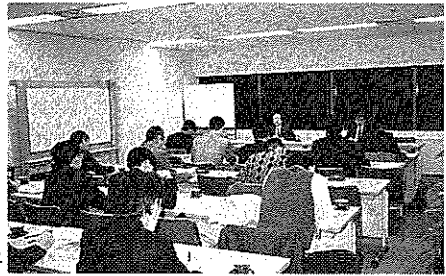


図1 都市景観形成基本計画の運用プロセス
 (出典：「神戸市都市景観形成基本計画」
 昭和57年7月より)



安田 丑作助教授



セミナーの様子

景観行政の評価と課題

これらの景観行政を進めていく上で重要なものが、条例あるいは要綱の制定と、それに基づく規制・誘導施策である。その現段階での評価として、①私権の制限や建築の自由の侵害に敏感であること、②それぞれの地域や地区の景観特性や課題に柔軟に対応できる計画主導型の運用が求められ、その際とくに規制・誘導基準の設定については合意形成の度合いに応じた段階的な対応の必要性がある、等があげられる。また、今後の建築デザイン誘導の展開にあたっては、建築行政と都市計画行政との結びつきを強化し、計画策定と法的な一般規制との間に、規制誘導、計画誘導、啓発誘導といった多段階の建築デザイン誘導手法を位置づけ、それらの有機的連携による総合化・体系化を図る必要がある。(図2)

さらに、景観行政の課題として、景観行政の多面的展開のためには、縦割りの行政の枠をこえて、関係セクション間の有機的連携を図りつつ、これらをつなぎとめていく役割が期待される。

おわりに

講演の後、質問や活発な意見の交換が行われました。熱のこもった議論に、景観への関心の高さに参加していただいた方々の景観行政からのまちづくりの熱意を感じました。

今回の先生のお話していちばん印象に残ったことは、景観について多くの関係者が議論し、合意形成を図っていくことの重要性です。また、そのために議論できる場をつくることも大切だと思いました。さらには、その合意形成の段階的な対応の必要性、計画的展開と体系化についての取り組みの重要性、景観行政を進めていく上での問題点等について、神戸市の北野・山本通りや旧居留地、尼崎市の景観行政への取り組み等の具体的な例によって知ることができました。

主催者側としては、接客や進行などに反省点も多々ありましたが、これをよい経験にして、次回からはよりよいセミナーにしていきたいと思っております。最後になりましたが、お忙しい中お越しいただいたセミナー参加者のみなさんにお礼を申し上げます。

(大阪事務所 やまむら こうじ)

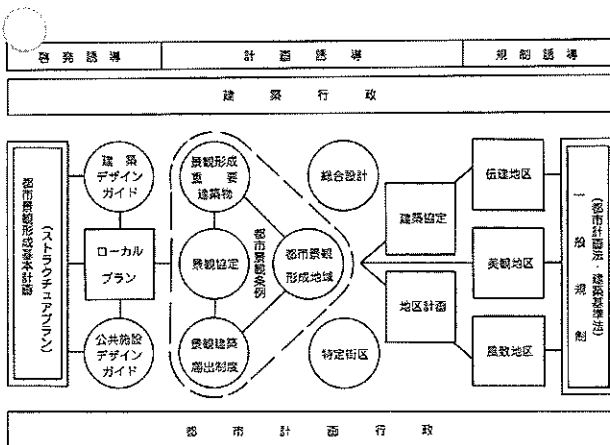


図2 都市景観形成のための建築デザイン誘導制度の展開

～泰さんのあんな京都こんな京都⑧～

山城町 デレーケの偉業をしのんで

山田 泰造

京都府の南部、木津川が東から北へ直角に屈曲する地点の右岸に山城町（面積24.67km²、人口9,320人）があります。山地と丘陵部が風化の進んだ崩壊しやすい花崗岩や洪積層の地質であり、又町を東西に分断する湊・天神・不動・鳴子等の川が天井川であるため、洪水に弱い体質を持っています。明治初期この地を訪れたオランダ人デレーケが不動川上流に砂防堰堤を築造し、最近近代砂防発祥の地として知られるようになり、町は彼の功績を後生に伝えるため懸命に努力しています。今回は彼の業績を中心に報告します。

デレーケの来日

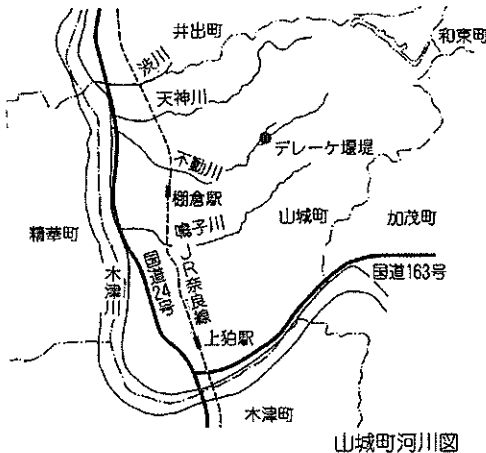
明治初期、政府は先進国の技術を導入するため鉄道・治山・治水・築港・上水道等の土木関係の外国人技術者を積極的に招き、明治2年～22年の間、約2,300人にのほりました。特に治山・治水・築港については北海とゾイデル海の締切計画等で世界最高水準の河海工学を持つオランダから明治5年ドールンを招き、主要河川の改修と大阪築港計画を委嘱し、明治6年にはデレーケ等4名の工師と4名の工手が来日しました。彼は30才、四等工師、

月給300円と当時の一般官吏の月給7～8円に比べて、非常な厚遇でした。なお来日した外国人技師等は明治10年頃が最多でしたが、海外で技術を修得した日本人が帰国しだし、次第にその地位を譲り、僅か10年余りで大半の事業が日本人主導で行われるようになりました。

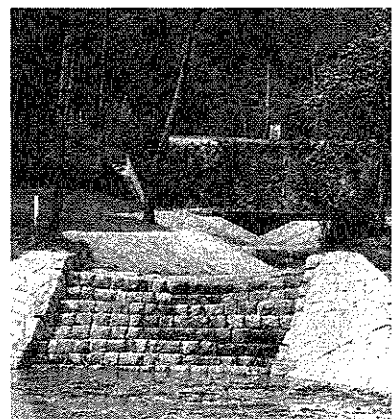
デレーケの業績

(1) 明治6年～7年 来日早々淀川及び支川の測量、続いて粗朶を用いた沈床基礎工法で低水路の安定化をはかり（当時オランダから日本に導入された工法の中で最もすぐれた技術といわれている）京阪間水運や土砂疏通に努める。

(2) 明治7年～8年 木津川上流の荒廃した山地の砂防が急務である事を知り、不動川上流で地形にあわせ16種類の工法による試験施工を行い、当時の砂防職員の教材に活用された。引き続いて、不動川上流を中心に山腹工や石積堰堤を日本古来の工法を取入れ近代的工法で築造。80年後の昭和28年南山城水害にも耐え、デレーケ堰堤として整備・保全されている。



山城町河川図



デレーケ堰堤

(3) 明治9年 ドールンは利根川改修を命ぜられ、デレーケは淀川の治山・治水を一任される。

(4) 明治11年 淀川治水は上流からの土砂流入防止が先決と建議。現在の山城町綺田小学校の一室を利用して、国直轄の「綺田村砂防工営所」が設置され、淀川修築工事費の1/2が水源砂防にあてられるようになった。

(5) 明治13年 内務卿松方正義・大阪府知事渡辺昇等は大山崎、奈良、現地へと人力車を連ね視察。松方は「此ノ山中ニテ此盛会アルハ開闢以来ノ盛宴ト云ヘキナリト歎喜限りナシ」と全職員の労をねぎらった。なお、公営所は大正11年木津川上流の奈良県豊原村に移転した。

(6) 以前から大阪築港の声が高かったが、来日後数回の淀川洪水を経験した彼は明治23年築港と淀川改修を分離し、治水を第一とすべきと、日本の河川の実状に即した「淀川高水路改修案」を、また明治27年初の日本人技師沖野忠雄は「淀川高水防禦工事案」を策定した。やがて世論も次第に淀川改修が先決であると傾き、明治29年河川法が、次いで砂防法、森林法と公布され、彼の長年の主張が実る事となった。

(7) 彼は淀川、木曾三川、利根川、吉野川、富山常願寺川や各地の港湾等の改修に携り、殆んど日本全土に足跡を印し、明治36年60才で日本を去り、大正2年1月20日、70才の生涯を閉じ、アムステルダムに眠っている。

デレーケの顕彰

来日以来30年間、人生の大半を日本の治山治水に捧げ、特に河口から水源迄の一貫した施策の失駆的な実行者として、不朽の功績を残した彼の生涯が各地で讃えられている。

(1) 日本政府の顕彰

明治6年四等工師、明治17年一等工師450円、明治22年勲四等、明治25年勲三等、明治36年勲二等瑞宝章を贈り、彼の功績を深くたたえた。

(2) 地元の顕彰

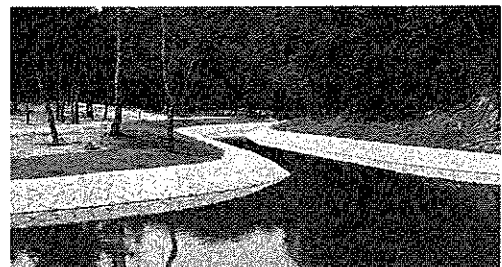
従前からデレーケ研究をされていた花園大学教授伊藤安男氏は不動川上流を踏調し、昭和54年堰堤を発見し、各方面に保存を呼びかけた。京都府は昭和57年～62年周辺を整備し、記念碑を設け、堰堤を保全し、砂防歴史公園と名付け、町も逐年山地部の公園化を推進し休日には多数の人出が見かけられるようになり、また最近「蘭人工師デレーケと山城町」を発刊し、彼の偉業を伝え残そうとしている。本書御希望の方は町役場に照会されたい。

(3) デレーケ研究会

昭和60年デレーケ研究会（本部東京、会長東大名誉教授井口昌平氏）が発足、毎年研究会と会報を発行し、昭和62年5月には会員が彼の生誕地を訪れ、町との交流親善を話し合い、平成4年4月7日、孫のヤコブ・デレーケ氏（70歳）が、砂防公園を訪れた。

山城町山地部の往時のはげ山も今では緑に覆われ、木津川への土砂流入も激減し、災害も著しく減少しています。100年前の先人の労苦が報われ、今日多くの人々は彼の偉業をしのび、永く語り伝えるでしょう。

（京都事務所 やまだ たいぞう）



不動川砂防歴史公園（親水池）

現場の“ある一日”
 一小野工業団地管理センター竣工—
 前田 伶嗣

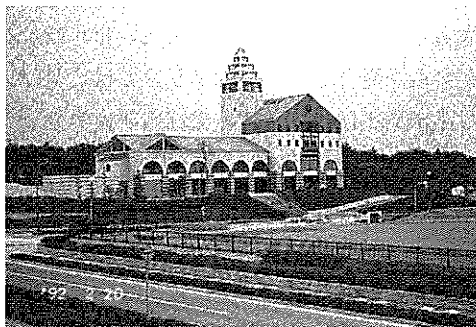
日に焼けて、深い皺を顔に刻んだ鷺が「段々、先っぽのほうが見えてきたね」と、嬉しそうに言った。私は、「ありがとうございます」とだけいった。年齢よりも、だいぶ若く見える少年の様な現場主任は、さっきから、落ちつかない様子で私との打ち合わせもそこに現場事務所を出たり入ったりしている。「前田さん、今日は足場がとれるまで座ってられませんわ、ちょっと現場に行ってください。これとこれとこれを決めといてください。」と言ったまま出ていった。

クレーンは、人の気持ちと裏腹に、淡々と足場を降ろしていく。やがて物は、その姿を表した。

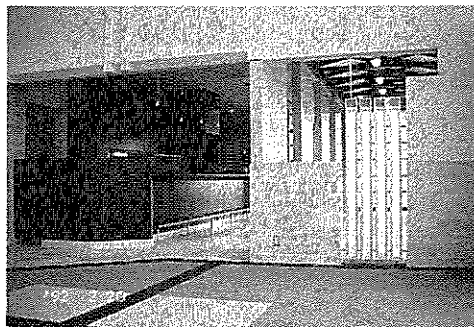
観念的な修辭のコトバを必要としない、透き通った塔のある建物である。

90年秋、指名コンペでアルパックに設計が決まった小野工業団地管理センター（場所：兵庫県小野市匠台7番地、施主：小野市、施工：戸田建設(株)大阪支店）が「匠台テクノプラザ」というかたちで92年4月17日にオープンした。

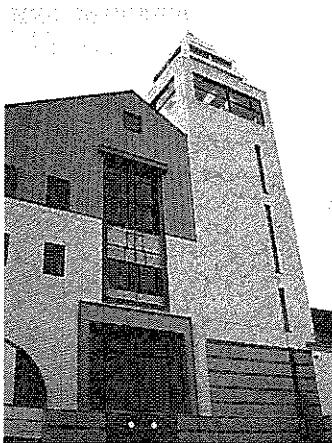
敷地は、ちょうど小野市と三木市との境で、山陽自動車道、三木・小野インター（建設中）から約3kmという場所にある。団地内は立地企業と市との間で都市環境の形成に関する協定が交わされ、緑化、壁面後退、建設上の制限、広告物の制限等、美観と環境に注意が払われている。両側が植栽された緩やかな法面をもつ道はいつ走っても心地よいものがある。



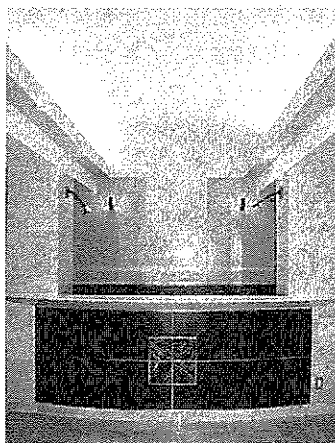
協定に沿った街路からの景観



バーカウンター（左）とレストラン（右）



デザインに配慮した物見塔



フロントカウンターの蛇紋飾り石



大理石で仕上げたロビー

建物は、敷地面積8,514.51㎡、建築面積790.80㎡、延床面積1,975.94㎡、RC造、地上4階で工業団地立地企業の利便施設として、匠工業会の事務局、各種会議室、レストラン、CDコーナー、売店、宿泊室、物見塔で構成されている。設計にあたっては、立地企業や市内企業等にかかれた利用しやすい建物、工業団地のランドマークとなる建物、ハイテクタウン小野に相応しいイメージの建物という基本方針のもと進められた。

さて、小野に通って、くたびれたうちの車をスタンドへ連れていくことにするか。

(京都事務所 まえだ さとし)

天神さんの池の小さな管理システム

三輪 泰司

5月ともなると、長岡天満宮の燃えるような朱色のキリシマツツジが、八条池の参道を彩ります。いま、池を横切る参道の拡幅と苑地整備の工事が進んでいます。

この事業は、ふるさと創生で京都府から表彰を受けています。中国は浙江省杭州の西郊にある西湖の堤をイメージして計画されています。

天神さんと町内会と錦水亭

長岡京市は、亡父の故郷で、子供の頃、この池で魚や菱を採って遊んだところです。今年の1月に伯父の法事があり、供養の席は親戚であり、同じ町内でもある“錦水亭”でした。裏手の池を取り込んだ眺めの良いお座敷でした。この池は、実は錦水亭のものでも天満宮のものでもなく、町内会の共有地なのです。町内会が天満宮に貸しています。しかし、維持管理に費用が掛かります。そこで天満宮は、錦水亭に借景として貸して維持費用を受

けているのです。この仕組みは何時頃、誰が発明したのが判りませんが、宗教法人と民間事業者を組み合わせることによって、公共の緑と水の空間である町の共有地は、つつがなく維持され、天神さんも料理旅館も、お互いに上手く活用し、そして行政がテコ入れをして、名所としても効果を高めて行こうというわけです。

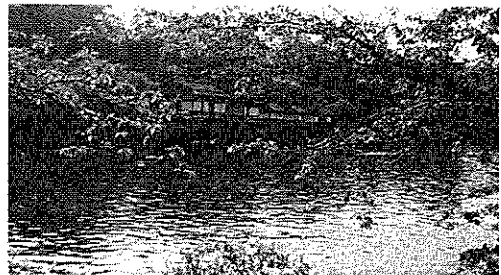
小さな民生活の地域管理

長岡京市では、その他に細川ガラシャの勝竜寺城の復元整備もこの春に完成しました。

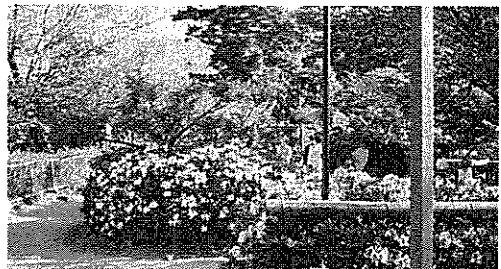
平成元年から取り組んでいる住環境問題は住環境整備条例と住環境整備計画を作ろうと審議会をもって英知を傾けています。丁度、都市計画法の改正で、“都市のマスタープラン”が登場しましたが、その先取りをしていたわけです。当然、八条池や天神さんの森も環境整備計画に組み込まれるでしょう。

そのような都市のマスタープランの一部を成す“小さな民生活込みの小さな地域管理”の一例です。

(代表取締役会長 みわ ひろし)



池と錦水亭



つつじの咲き乱れる境内

おもちゃのスーパーマーケットの挑戦

石井 敏史

今年の1月、世界最大のがん具小売チェーン、米トイザラス社系の「日本トイザラス」横浜店が、奈良県橿原市に日本第2号店をオープンしました。そう、あのブッシュ米大統領が視察にあらわれ、大騒ぎとなったところですよ。騒ぎも一段落したある日曜日、ちょっと訪ねてみました。

両手に荷物を抱えて・・・

店に入るとまず右側にファーストフードショップ、左側にアイスクリームショップ、奥に進むと左右にゲームセンターがあらわれます。「さすがにアメリカっぽいなあ」などと感心しながら進んだ奥がセルフサービスのがん具売場になっており、お客さんはかごを抱え、あるいはカートを押しながら店内を回りまわって一般のスーパーマーケットで食料品を選ぶような様相を呈しています。

品揃えは確かに豊富で、ゆっくり見ていては一日で足りないほどなのですが、商品のほとんどは日本製品でアメリカ製品はわりと少なく、「何か珍しいものでも置いてあるのかな」という期待は大きく裏切られることになってしまいました。

それでも店を出ていく人を見てみると、ほとんどの人が買物をし、なかには両手に抱えきれない荷物を持った人もいます。「確かに多少は安いけれど、なぜ特別でもない商品が



これで「トイザラス」と読むそうです

こんなに売れるのだろう」と不思議に思い、後日、再びトイザラスを訪問しました。

ターゲットは子どもではなく大人

この再度の訪問の時気づいたのですが、セルフ売場には子どもが意外に少なく、大人が多いのです。子どもがおもちゃをねだるといふ光景は見られず、むしろ嬉々として商品を選んでいるのは若いパパ、ママなのです。共稼ぎで子どもにかまえない罪滅ぼしでしょうか、あるいは一人っ子への愛情の深さでしょうか。まとめ買いに慣れた若い世代にトイザラスの恰好のターゲットがあるようです。

おばあさんのひとりごと

トイザラスからの掃り道、一人のおばあさんの「なんやゴチャゴチャしてようわからなかったわ」というつぶやきが聞こえてきました。妙に耳に残る言葉だったのですが、今後宇治、東大阪等にも出店の計画があるトイザラス、先の言葉を気にしながらその行方に注目していきたいと思います。

(京都事務所 いしい さとし)

新人紹介

ふぞろいのコロンプスの卵たち

コロンプス米大陸上陸 500年記念の年に、個性と実行力あふれる15人のアルパック丸新入船員が大航海に出ます。よろしく願います。(順不同)

【京都事務所】

高野隆嗣(第2計画部)

出身地の静岡県の伊豆も大学時代の三重県津市ものんびりしすぎたところです。仕事に疲れた時は、骨休めに伊豆の温泉・海水浴、または、津の競艇場へぜひ!

島津史子(総務部)

私のふるさは京都です。のんびりと息抜

きできる場所だと思います。並ばないと食べられない祇園の抹茶パフェのファンです。

当真テレーザ理恵子（第3計画部）

国籍ブラジル。わが国は、大都市以外はとも住み易い所です。肉やくだものは安くおいしいと思います。母国の人々は明るく、いつも今日はいっぱい生きようと毎日の生活をおくっています。

【大阪事務所】

中室紋子（建築室）

第2の故郷の札幌は、グリッド状都市のためよく道に迷いますが、坂がなく、都市の規模が自転車にちょうど良く愛着をもっています。温泉が好きなので、温泉の出るところは、どこでも行きます。

中川天晃（第2計画部）

相手に説明する必要があまりなくて済む「京都」出身。金沢美工大の学生時代、劇団の照明スタッフやバンド活動そして作品の制作を経験。

原田弘之（第1計画部）

大切なものは、おふくろと思い出。大学研究室では、サイドワークとして市民参加によるまちづくりや環境づくりのためのイベント企画・運営の手伝いをしてきました。イベン

トの詳細については、折々伝えていきます。

馬詰 建（第4計画部）

出身地の大阪府枚方市の自慢は、くらわんか舟と枚方パークと、駐車場の大きいくずはモール街である。

吉津愛樹（第4計画部）

私は大阪だけを見て育ちましたが、出身大学のある神戸が大好きな、こてこてのなにわっ子。お米は何年食べてもあきないので、究極の食べ物ではないかと思っている。

福岡 宏（第2計画部）

中学・高校の6年間サッカーをやっていたので、体力・精神力はかなり養われています。スポーツならたいていのものはOKです。

長谷川めぐみ（総務部）

出身地は青森県。とにかく食べ物おいしい。日本一安い物価。日本のリオのカーニバル(?)ねふた祭等々。

西島 芳（第3計画部）

ふるさとは長浜ラーメンがおいしい福岡市博多。博多弁はキリリとしている。有名人が多い（松田聖子、チェッカーズ、タモリ等）

餅子田稔理（建築室）

ほぼ同時に2人の人からあなたの横にいるとほっとしますというようなお手紙をもら



田中 清水 高野 原田 稲岡 馬詰 吉川
 福井 中室 島津 長谷川 餅子田 西島 テレーザ

1992年5月1日

きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況

った(2人共残念ながら女性ではありませんが)。こっちのほうはほっとした。

【名古屋事務所】

福井 守

札幌生まれの函館育ち。時間がゆっくりと流れ、追い立てられるという焦りは感じない。「住む」「安らぐ」という観点では最高の街。しかも海の幸が最高。

田中一衛

出身地名古屋。都会の割には住み易いところだと思っています。また、海や山へも比較的気軽に行ける立地の良さも魅力です。

【東京事務所】

清水 環

今まででテレビでの大学の合格発表のシーンに自分も浪人して何か感じるものがあった。実家は福岡市内ですが、学生時代を過ごした鹿児島では、いろんな所から桜島を見るのが好きです。

LISTEN TO THEIR BLUES !

坂井 信行

おお～ いええ～！ 飛び交う歓声の中、興奮のつぼと化した(?)ARPA・K OSAKA end-year party, 1991, in South Towerのステージで、"ARPA・K BLUES BAND"(A. B. B.)は遅すぎたデビューを飾った。

A. B. B. は一身上の理由からアルパックに身を寄せている5人のブルースマンによって結成されたバンドである。不明な点の多いメンバーであるが一応紹介しておく。

Muddy Nakatsuka(ヴォーカル、ギター)

最年長のためリーダー格である。ハスキーなシャウトで聴衆をあおる。

Nelson Hatanaka(ヴォーカル、ギター他)

サービス精神が旺盛で、ギター以外にも鳴

りモノ全般をこなすマルチプレイヤー。

James "FUNKY" Ito(ベース)

FUNKYなベースが売り物の彼はA. B. B.のリズムキーパーである。

BONZO Nakagawa(ドラムス)

彼の生み出す限りなく重くけだるいビートがバンドのカラーとなっている。

Robert Jr. Sakai(ギター)

正統派ブルースギタリストをめざし、シカゴブルースに傾倒している。

A. B. B. のめざす音楽は、ブルースをベースとしながらも、R&B、ファンク、ソウル、ロック、ジャズ、レゲエなど幅広い。しかし、メンバー全員の過度の自信から、バンドとしての練習をほとんどやらないことでも有名である。このため彼らのステージは自己陶醉型であるという声もある。

ともかく、6月には大阪事務所の新入所員である中川氏のWedding Partyでのライブが控えており、その後には天王寺公園水上ステージでの野外ライブも検討されている。

彼らはブルースというなかなかわかってもらえない音楽にあえてこだわり続け、今日も故郷の南部に想いを馳せる。

A. B. B. の白熱のステージをご覧になりたい方は、大阪事務所内ブルース振興係まで是非御一報を。(ギヤラについては相談に応じるとのこと)

Listen to their blues!

(大阪事務所 さかい のぶゆき)



演奏風景

うまいもの通信⑪

冬の秋田の味紹介

芳賀 教子

昨年末から今年の3月にかけて、何度か秋田市へ行く機会がありましたので、私なりに秋田を紹介したいと思います。

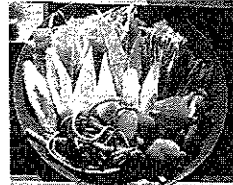
秋田市は、秋田県のほぼ中央にあり、日本海に面しています。

今回、私が訪れた時期が、ちょうど冬であったこともあり、秋田の第一印象は、「暗い」の一言でした。日本海側特有の「うらにし」で、日中はほとんどどんよりとした曇り空。「弁当忘れても、傘忘れるな」の言葉通り、一瞬、嘘のように青空が広がったかと思えば、1時間もしないうちにくもりはじめ、あっという間に、あられが降り始めます。そして、また晴れてきて…の繰り返しです。

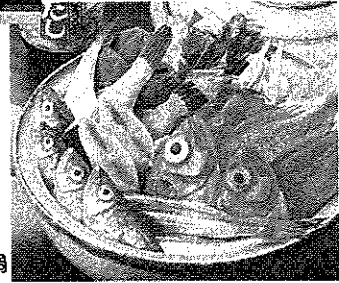
寒さも並大抵のものではありません。大阪空港から出発する時は、暑いぐらいだったオーバーも、秋田空港に着いたとたん「しまった、もう一枚着てくれば良かった。」と、後悔したほどです。

でも、この寒さの中だからこそ、「秋田の味」が、ひときわ冴えるのかもしれない。

「比内鶏」という地鶏から取っただいで、



きりたんぼ鍋



しょつつる鍋

名物のきりたんぼ(ご飯を棒状にして焼いたもの)や野菜を煮込む「きりたんぼ鍋」は、おいしいことはもちろん、体の芯まで暖まります。「しょつつる鍋」は、その中に入れるハタハタの大きさに満足し、「稲庭うどん」は、きしめんを少し厚くしためんて歯ごたえがあります。

他にも、お米やお酒がおいしいことは有名ですし、トンブリやジュンサイといった、普段はなかなかお目にかかれないような食べ物など、まだまだ沢山あります。

「秋田の味」を満喫するには、冬が最も良いようです。

(京都事務所 はが のりこ)

編集局より

・今年も入社時期がきました。新人研修会でのニュースレターについてのガイダンスも恒例となりました。今年は新入社員の数も多く、紹介記事の構成には少々手間取りました。

・この間、経済企画庁から「経済研究所ニュースレター」の創刊号を頂きました。昨年来創刊にあたって当誌を参考にしたいとの依頼を頂いていたものです。本誌の「手作り」の点でも参考にさせていただいたのでは、と自負している次第です。「経済研究所ニュースレ

ター」の御発展を期待しています。

・また、1月には国立国会図書館から当レターの納本の依頼をいただきました。「われわれのようなレターがどうして」といった疑問もありましたが、国で保存していただけたとのこと。早速、バックナンバーを送らせて頂き、毎号の発送の手続きをしたところです。

・編集委員一同、当誌の広がりを実感することが出来るうれしい「事件」でした。(い)

1992年5月1日

きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況

“『地球環境都市』パネル展”のご案内
市民・産・官・学=All Japan としての試み

ブラジル会議とパネル展

今年6月1日～12日、リオ・デ・ジャネイロにおいてブラジル会議（国連環境開発会議、UNCED）が開催されます。これは、みなさんご存じのように、1972年、スウェーデンのストックホルム国連環境会議以来20年を画するものです。

このブラジル会議にあわせて、このたび、大阪と神戸で“『地球環境都市』パネル展”が開催されます。これは、地球環境の現状の解釈、環境保全技術や生活の仕方の提案、さらにアートによる環境保全の主張など、市民・産・官・学等様々な立場から地球環境へのメッセージをパネルで表現してもらおうというものです。

主催は、土木学会環境システム委員会内に設けられた実行委員会で、地元自治体を始め、国の各省庁等多方面からの協力を受けています。なお、その準備は大阪大学環境工学科が中心となって、アルパックもお手伝いしています。

関西からの情報発信

近年、市民サイドではリサイクルフェアなど、行政サイドでは環境フェア、企業サイドでは‘地球にやさしい製品’の見本市的な催しなどがそれぞれの立場から行われています。ここでひとつ市民・産・官・学がひとところに集まり、地球環境についての認識が深まり、今後の実践につながればと考えています。

また、近年は、情報発信が東京中心となり発信される情報が偏らないとも限りません。今回は、そういった意味でも、東京とは違ったスタンスで、特に市民も交えた形で関西から情報発信をできればと考えています。

当日、特に大阪会場では、パネル展示の他に、電気自動車や生活の工夫など市民・企業の協力による実演コーナーや体験コーナー、出展者・来場者等様々な立場からのミニディスカッションなど色々な催しも予定しております。みなさんの参加をお待ちしております。

〔大阪会場〕

期間：92年5月23日（土）～26日（火）

会場：大阪ビジネスパーク（OBP）
ツイン21・ギャラリー
（JR環状線・京阪「京橋」駅下車10分）

〔神戸会場〕

期間：92年5月28日（木）～6月2日（火）

会場：神戸市役所1号館2Fホール、市民・花時計ギャラリー、サンチカホール
（JR・阪急・阪神「三宮」駅下車すぐ）

おわりに

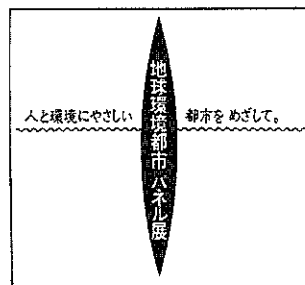
ここ数年、‘地球環境’や‘エコロジー’が、企業活動からファッションに至るまであらゆる分野でキーワードとなっていますが、既に一部のマスコミではこのことを茶化し始める現象がみられます。

今回のパネル展は、折しもブラジル会議に合わせた形となっていますが、これが単なるブームで終わってしまわぬよう、今後、さらに地に足のついたものとなるよう努力が必要と考えています。

みなさんのご協力、アドバイスをお願いします。

〈詳しくは下記までお問い合わせください〉

大阪事務所
重本幸彦
畑中直樹
原田弘之



新刊旧刊書評紹介

金子忠史著 東信堂

『変革期のアメリカ教育—大学編—』

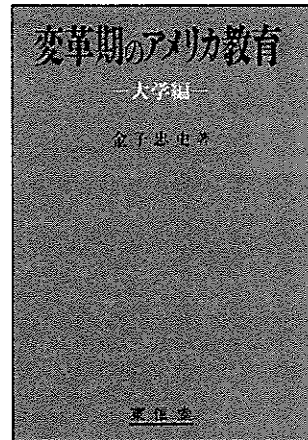
紹介 山田 克雄

人口構造の変化と教育

わが国の教育については、各方面での論議や国の審議会での検討など、将来のあり方とその変革がいられています。また、背景として、若者人口の急減にみる、人口構造の変化があり、例えば、医療や福祉といった高齢化社会に対応した産業を拡大させるとともに、教育やファッションと言った若者に焦点をあて、主要なマーケットとしている産業を構造的な不況業種に転落させるなど、産業活動へ直接的に影響を及ぼしていくことが考えられます。既に、幼稚園や保育所での児童不足が言われて久しい訳ですが、小中学校での生徒減少に続き、今後は、高校、大学での学生減少に伴い、塾や予備校など教育産業への大きな影響を及ぼすとともに、大学をはじめとする高等教育機関についても「学校淘汰」の時代の到来が言われています。

アメリカの高等教育

日本の高等教育は、戦前の特定階層を中心とするエリート型から大衆化されたマス型に移行しています。アメリカには、3千以上の大学、短大などの高等教育機関があり、大衆化された高等教育制度がいち早く確立されるとともに、現在では世界各国から学生を集めています。アメリカの高等教育は、今後の日本の高等教育機関を考えるにあたって参考となり、比較検討されているところです。ここで紹介しています本書は、アメリカの高等教育の全体を概観し、生涯教育時代での大学の役割やユニバーサル型としての世界的な大学像など、日本の大学で論議されている将来の



あり方について、記述されている豊富な文献やデータとあわせ、貴重な調査研究資料となっています。著者は、文部省が設置している研究所（大学研究所でない）である国立教育研究所に高等教育研究室長として在職されています。なお、国立教育研究所以外に、高等教育に関連する機関として広島大学に大学教育研究センターがあり、大学教育等の研究が行われています。また、早稲田大学には、教務部に大学問題研究資料部があり、大学が抱える諸問題を取り扱った内外の記事・文献が収集されており、公開されています。

アメリカの大学についての既刊のものとして、「アメリカの大学・カレッジ（アーネスト・L・ボイヤー、リクルート出版）」、「飛躍する大学スタンフォード（ホーン・川島瑤子、小学館）」などがあり、日米の教育比較については、日米教育協力研究報告を出版した「相互にみた日米教育の課題（天城勲編著、第一法規）」があります。

（京都事務所 やまだ かつお）

まちかど

建物の高さは樹林より低く
—ヒューストンのまちづくり—

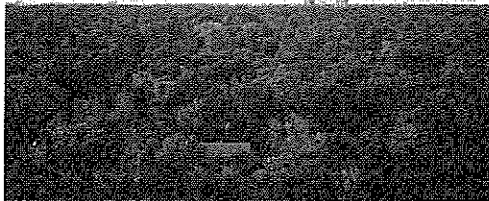
重本 幸彦

ヒューストンは、全米で第4位、テキサス州では第1位の都市である。

20世紀初頭の油田の発見以来、石油関連産業の都市として繁栄し、また、NASA宇宙センターで有名な都市である。

先般、この都市をおとずれて、ホテルの窓から外を眺めた時、そこには地平のかなたまで樹海という光景が広がっていた。このような樹海の下に、人口170万人の大都市があるとは・・・いささか驚かされた。

このまちでは、建物やハイウェイなどは樹林より高くしないのがルールだという。そして、東西南北がおおよそ30~40kmに及ぶ都市の所々にある都心・副都心地区には、超高層



全米第4位の大都市が樹海に埋まっている地平に見えるのは、副都心の一つ。

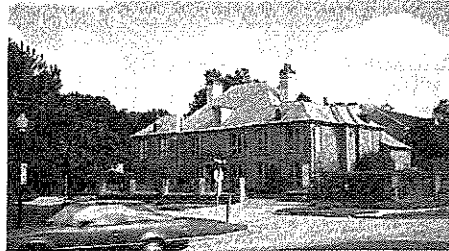
ビルが、シンボリックに立っている。

こうしたことをご存知の方も多いのだろうが、ともかく、日本の多くの都会の景観に比べると、信じられないような光景だった。

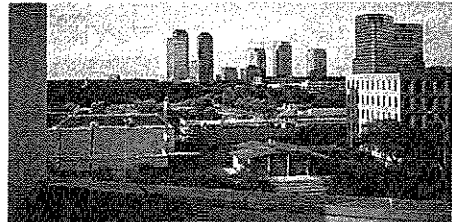
緑の木立に囲まれた住宅に暮らすことがあこがれであるアメリカでは、このような都市は極めて魅力的であり、人々が移り住んで来るのだろう。

我が国でも、都市の景観問題が議論されている昨今、考えさせられる光景である。

(大阪事務所 しげもと さちひこ)



樹海の下は、このような住宅地



緑に囲まれた副都心。土地の広いアメリカでは、シンボルとして超高層ビルが建てられている。

アルパック (株)地域計画・建築研究所

ARCHITECTS, REGIONAL PLANNERS & ASSOCIATES, KYOTO

本社	〒600 京都市下京区四條通り高倉西入ル立売西町82 (大和銀行京都ビル6階)	TEL (075)221-5132(代)
京都事務所		FAX (075)256-1764
大阪事務所	〒540 大阪市中央区城見1-4-70 (住友生命OBPプラザビル15階)	TEL (06)942-5732(代)
		FAX (06)941-7478
名古屋事務所	〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 (ツボウチビル2階)	TEL (052)962-1224(代)
		FAX (052)962-1225
東京事務所	〒160 東京都新宿区新宿2-5-16 (霞ビル401号)	TEL (03)3226-9130(代)
		FAX (03)3226-9560
㈱九州地域計画研究所	〒810 福岡市中央区天神1丁目15番1号 (日之出ビル6階)	TEL (092)731-7671(代)
		FAX (092)731-7673
㈱アルパックインターナショナル	〒540 大阪市中央区谷町1丁目5番7号 (ストークビル天満橋10階)	TEL (06)943-7016
		FAX (06)943-7026
㈱都市居住文化研究所	〒604 京都市中京区東洞院通六角上ル 三文字町225 (朝陽ビル4階)	TEL (075)252-2231
		FAX (075)252-4417